

●●●●=必ず記入

○○○○=計画に応じて該当するところを記入

めざす子ども像	地域の人々の思いをふまえて課題を設定し、自ら解決方法や手順を考え、見通しをもって追究している。
学年・学期における探究課題	地域の未来と自分たちの生活 地域の伝統や文化とその継承に力を注ぐ人々
単元名	我が国の伝統 ～伝統文化を体験しよう・ひなまつりウォークに参加しよう (全20時間=実施時期: 9月~2月)
単元のねらい	体験活動や交流を通して、伝統文化を伝える方々の思いや願いについて考えることを通して、郷土を愛し、誇りをもって生活していこうとする態度を育てる。地域に残る文化について知り、その文化を守り引き継いでいくための課題を考えることを通して、自分たちにできることに取り組もうとする態度を育てる。

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		・体験を通して伝統文化について学ぶ。 ・高屋にも受け継がれている文化があることを知る。 ・高屋に残る文化を受け継いでいくための課題について考える。	・情報機器や図書資料で情報を集める。 ・高屋のひなまつりウォークについて、ゲストティーチャーに話を聞く。	・集めた情報から、自分たちが高屋の文化を受け継いでいくためにできることを考え、実行する。	・ひなまつりウォークの企画への参加に向けて、自分たちにできることを考え、全校を巻き込んで取り組む。(雛飾り、宣伝など)
仕掛け・工夫	もの	伝統文化を体験し、茶道・華道・水墨画や、それに関する道具等に関わり、伝統ある物のよさに触れる。	○○○○	一人一台端末を活用し、友達と協働して、集めた情報を整理・分析する。	○○○○
	ひと	○○○○	ゲストティーチャーを招き、地域にも伝統文化を継承している人や、新しい文化を創り受け継いでいこうとしている人がいることを知る。	○○○○	○○○○
	しごと (こと)	○○○○	○○○○	○○○○	地域のための仕事があることに気づき、参画することで、地域を大切に思う気持ちをもつことができるようにする。
	その他	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
引き出した姿	いばら愛 <small>(郷土愛と当事者性)</small>	地域の発展のために、今ある課題を見つけ、解決したいという思いをもつことができる。	様々な方法で情報を集めたり、ゲストティーチャーの話を積極的に聞いたりし、主体的に取り組むことができる。	○○○○	地域で活躍されている方を誇りに思い、自分の目標を見つけようとする事ができる。
	やり抜く力 <small>(向上心と忍耐力)</small>	○○○○	○○○○	友達と協力しながら、集めた情報を比較・分類したり、関連づけたりして、多面的に考察することができる。	○○○○
	まき込む力 <small>(発信力と協働性)</small>	○○○○	○○○○	○○○○	地域の文化を受け継ぐために、自分の思いを積極的に発信したり、自分にできることをしたりすることができる。
アウトプットの工夫		○○○○	○○○○	自分たちの取り組みをスライドやパンフレットにまとめ、発表することで、活動の良さを振り返ることができるようにする。	地域の行事に参画し、準備や広報活動に学校全体で取り組むことで、自分たちで地域を盛り上げていく意識を高めることができるようにする。

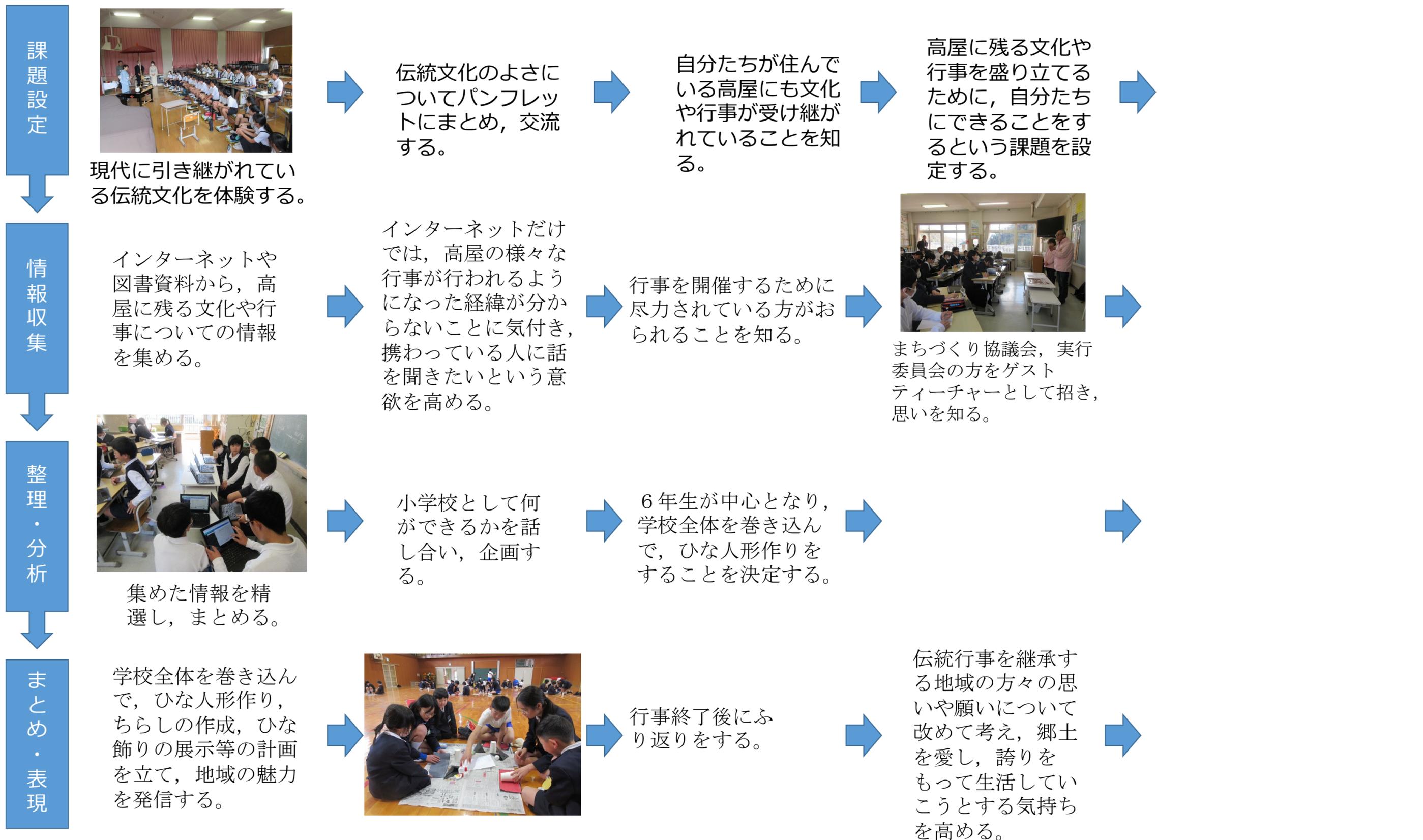
◆ 実際に関連付けた教科・領域、学校行事等

国語科 「狂言 柿山伏」	修学旅行
社会科 「今に伝わる室町文化と人々の暮らし」	
音楽科 「日本や世界の音楽に親しもう」	
外国語科 「We all live on the Earth」	

◆ 実際に連携・接続・交流した他学年、他校(園)種、外部団体等

まちづくり協議会の方と一緒に、ひなまつりウォークの企画・準備を行う。

◆単元のねらい「体験活動や交流を通して、伝統文化を伝える方々の思いや願いについて考えることを通して、郷土を愛し、誇りをもって生活していこうとする態度を育てる。地域に残る文化について知り、その文化を守り引き継いでいくための課題を考えることを通して、自分たちにできることに取り組もうとする態度を育てる。」



◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

○3, 4年生の総合の内容（ジーンズ）と関連付けた活動をしたり、低学年と高学年の異学年交流をしたりすることができ、全校で取り組むことの意義を感じることができた。
 ○年間の見通しをもって、早めに取りかかることができると、企画・準備等の負担も軽減されるので、伝統文化体験を昨年度（11月）より早めに設定し、2学期から計画的に進めることができた。